

3) gl

この2つの子音字のあとには母音 a, e, i, o, u がきますが、ふつうは「gl ⇒ グル」と発音します。ところが、母音 i のときだけは気をつけなければなりません。

- ① gla, gle, gli, glo, glu 「グ」と「ル」の結びつきです。

グラ グレ ギリ グロ グルウ

glaciale gleba glicine globo glutine

グラチャーレ グレーバ グリーチネ グローボ グルウーティネ

- ② gli ⇒ 母音 i がうしろへくる場合、上のように「グリ」になることはたいへん少なく、ふつうは「リ」のような音になります。

figlio famiglia moglie paglia aglio

フィーリオ ファミーリャ モーリエ パーリャ アーリオ

- 4) gn gna, gne, gni, gno, gnu ⇒ 猫の鳴き声に似た鼻に抜ける（ニュ）の短い音です。

ニャ ニェ ニ ニョ ニュウ

montagna ingegnere ogni bagno ignudo

モンターニャ インジェニエーレ オーニ バーニョ イニュウード

- 5) h 「無音」 ⇒ この字自体には音がありません。C, g と e, i の間にはさんで che, chi; ghe, ghi の音を作るのが主な役目で、まれに単語の頭におきますが、その場合はまったく発音しません。

ha ho hanno

ア オ アンノ

- 6) q qua, que, qui, quo

クウア クウエ クウイ クウオ

⇒「ク」の短い音ですが、次にかならず母音の u がおかれ、さらにそのあとにほかの母音がつくという形になります。

quadro questo aquila liquore

クウアードロ クウエスト アークウイラ リクウオーレ

7) s

この字には清音 [s ス] と 濁音 [z ズ] の区別があります。次のような簡単な規則があります。

- ① 清音 ⇒ 日本語の [ス] の短い音です。

- i) s+f, c, ch, p, t (フ、ク、プ、トゥ。これらの子音もすべて清音):

sfondo scuola schiena spillo stoffa

スフォンド スクウオーラ スピッロ ストッフア

- ii) 語頭 s+ 母音:

sano sopra sistema seme subito

サーノ ソープラ システム セーメ スービト

- iii) 二重の s:

basso missione grasso cassa discusso

バッソ ミッスィオーネ グラッソ カッサ ディスクウッソ

iv) 母音と母音にはさまれた s の一部:

riso casa riposo

リーソ カーサ リポーソ

② 濁音 ⇒ 日本語の [ズ] の短い音です。

i) s+b, d, g, gh, v (ブ、ドウ、グ (ジ) ヴら濁音の子音字)および l, m, n, r:

sbocco sdegno sgombro sgherro sgelo sviluppo slancio smalto snello sradicare

ズボッコ ズデーニョ ズゴンブロ ズゲッロ ズジェーロ ズヴィルウッポ ズランチョ ズマルト ズネッロ ズラデ
イカーレ

ii) 母音と母音にはさまれた s の大半:

rosa francese paese isola

ローザ フランチェーゼ パエーゼ イーゾラ

8) sc

s のあとに子音の c が付くときは注意が必要です。「ク」の音つまり ca, che, chi, co, cu がつくときは「スク」にするだけで問題はありませんが、「チ」の音つまり cia, ce, ci, cio, ciu がつくときは、とくに気をつけてください。1つの音「シ」に変わってしまうのです。

① sca, sche, schi, sco, scu

スカ スケ スキ スコ スクウ

scala scheda schifo disco scudo

スカーラ スケーダ スキーフォ ディスコ スクウード

② scia, sce, sci, scio, sciu ⇒ 日本語の [シ] を短く、強く発音します。

シヤ シェ シ ショ シュウ

sciarpa scena cuscino uscio asciutto

シヤルパ シェーナ クウシーノ ウーショ アシュウット

9) z

z にも s のように清音と濁音の区別がありますが、s のときのような区別の規則はありません。
z の字を使う語は比較的少なく、しかもとくに語頭の z は地方によって清濁がまちまちです。

① 清音 ⇒ 「ツ」の短い音です。

zampa zecca zio prezzo zucchero

ツアンパ ツェッカ ツィーオ プレッツォ ツウツケロ

② 濁音 ⇒ 「ヅ」の短い音です。

zanzara zero dozzina mezzo zuavo

ヅァンヅァーラ ズェーロ ドッツィーナ メッツォ ヅウアーヴォ

10) アクセント

i) うしろから2つめの音節にアクセントのある語。

minòre cartolìna pavimènto modèsto domànda

ミノーレ カルトリーナ パヴィメント モデスト ドマندا

ii) うしろから 3 つめの音節にアクセントのある語。

mùsica càmera àlbero òspite ròn dine

ムゥーヅィカ カーメラ アルベロ オスピテ ロンディネ

iii) いちばん最後の音節にアクセントのある語。

università caffè facoltà virtù perchè

ウニヴェルスイタ カッフェ ファコルタ ヴィルトゥ ペルケ

11) 母音字省略

冠詞や前置詞 **di** などのあとに母音ではじまる語がくると、母音が 2 つ重なるのを避けて、冠詞や **di** の語尾の母音をとってしまいます。代わりに省略記号 (') をおき、発音するときにはつながっている 1 つの語と同じように読みます。

una oliva ⇒ un'oliva di abito ⇒ d'abito

ウノリーヴァ

ダービト

12) 好音字

語調をよくするために、前置詞 **a** や接続詞 **e** などの語の次に母音ではじまる語がくると、意味のない字 **d** をつけることがあります。

Mario e io ⇒ Mario **ed** io

マーリオ エドゥ イーオ